

マンスリータイムズ

和歌山県立新宮高等学校
平成27年度(2016年)2月版

熊野古道ロングハイキング

～ 歴史的に由緒ある熊野古道(小雲取超えコース)を体験! ～

2月10日(水)に、快晴のもと、1学年197名が保護者・同窓会・一般参加の方々とともに、熊野古道小雲取超えコース(田辺市本宮町請川～新宮市熊野川町小和瀬)をハイキングした。熊野古道は、悠久の昔から多くの古人が辿った歴史を持ち、わが国で12番目に世界遺産に登録された歴史的価値のある古道として知られ、国内外から多くの人々が訪れている。このロングハイキングは、歴史的に由緒ある熊野古道を歩くなかで、地元地域の素晴らしさを体験し、お互いの連帯感や友情を深め、互いに尊重し助け合う精神を養うとともに達成感や充実感を味わうことを目的として、毎年実施している。



3月の行事予定

2月25日(木)～3月3日(木) 考査V
1日(火) 卒業式・退寮式
6日(日)～9日(水) 台湾姉妹校訪問
24日(木) 後期終業式・修了式

第2回進路LHR

～ 新年度へのスタートを! ～

2月17日(水)に、1・2学年が学年別で外部講師を招聘し、本年度2回目の進路LHRを実施した。これは、生徒の進路に対する意識を高め、進路決定の一助とすることと、進路希望の実現に向けて、学力向上のために自分が今何をなすべきかを考えさせ、学習に向かう契機とすることを目的として実施している。また、年度の終盤にモチベーションを引き上げ、気持ちよく新年度を迎えるための準備期間として、有意義な春休みを過ごす意識付けの効果を期待している。

1学年は、「将来の職業と大学を決めるには」と題し、一般社団法人大学イノベーション研究所所長山内太地氏に、2学年は、「昨今の受験の対策と傾向」と題し、エマジェネティックス認定アソシエイトKE教育コンサルタント代表蔵下克哉氏にご講演いただいた。講演では、低迷する社会状況においては、主体的に考え、行動を通して創意工夫の才を発揮する優秀な人を目指すことが重要と説明され、その分かれ目が高校時代にあると指摘。高校時代から能動的な学習習慣を身に付け、日々の学習から創意工夫の習慣づけをしていくよう促した。



～ 平成27年度 第2回 ～

学校評議員会を実施

2月25日(木)に、第2回学校評議員会を開催した。学校評議員制度は、学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくために制度化されたものである。第2回目となる今回は、評議員の方々に対して、学校長が挨拶、教頭が本校の概要を説明した後、担当教員がそれぞれ生徒状況や進路状況などの現況を報告した。また、協議として、出席いただいた評議員から、本校に対するご意見・ご提言を賜るとともに、意見交換を通して連携を深めた。

～ 姉妹校での発表に向け歌唱練習! ～

台湾姉妹校訪問旅行へ向けて

3月6日(日)～9日(水)の日程で台湾を訪問する生徒19名は、7日(月)午後には予定されている台湾彰化女子高級中学校歓迎式典での舞台発表のため、新宮高等学校校歌とEXILE「道」(2007年、旅立ちがテーマの通算23枚目のシングル曲)の練習に熱が入っている。

この交流は、本校の教育目標である「知・徳・体バランスのとれた人間形成」・「地域社会に積極的に貢献する人材、次代の日本社会・国際社会で活躍できるリーダーの育成」を図るために、姉妹校交流やホームステイ等様々な異文化体験をつむことで、日本や郷土を再認識し、豊かな教養と人間性、社会性を身につけた次代を担うバランスのとれた人材を育成することを目的としている。平成16年に交流が始まり、これまでに6回来校されている。その際には、歓迎式典や発表会・交流会を実施して親交を深め、平成26年3月に姉妹校として正式に提携を交わした。本校が訪問するのは今回が初めてとなるが、台湾彰化女子高級中學では、両校生徒による発表や授業見学、交流会などが予定されている。

